

## News Release

2016年3月11日

### 東日本大震災の被災地へ被災孤児、被災遺児義援金 合計60万円を寄付しました 津波震災孤児（両親を震災で亡くされたお子様） 津波震災遺児（震災で片親を亡くされたお子様）

弊社は東日本大震災により被災された方々の支援を、2011年度から継続して行っております。2016年度は（各寄贈先へ20万円ずつ、合計60万円）の義援金を未来を担う子供たちのために役立てて頂こうと、以下の3箇所に義援金をお送りしましたのでご報告致します。

- ①宮城県 保健福祉部 子育て支援課 「東日本大震災みやぎこども育英募金」
- ②福島県 保健福祉部 児童家庭課 「東日本大震災ふくしまこども寄附金」
- ③岩手県 復興局総務課 「いわての学び希望基金」

※2月15日に各寄贈先へ20万円ずつ、合計60万円をお送りしました。

弊社での東日本大震災義援金の総額は1,781万1,440円になります（2011年3月～2016年2月）  
（各支援課の皆様より、ご丁寧なお礼状を頂戴しました）

#### 現在の被災孤児、被災遺児人数と義援金の活用について

宮城県では、震災孤児139人 震災遺児925人 合計 1,064人

のお子様支援を必要とされています。義援金は基金として積立て、子どもたちの安定した生活と希望する進路選択の実現を支援するための奨学金・支援金として活用されます

福島県では、被災孤児：24人 被災遺児：174人 合計198名の子どもたちが震災前に抱いていたそれぞれの夢をあきらめることなく、着実に前に進んでいくことができるよう、長期的な支援を行う目的として使用されています

岩手県では、被災孤児：94人 被災遺児：489人 合計583人のお子様支援の為、被災した地域の高校生が教材や制服をそろえたり修学旅行に参加するためなどに必要な資金、小学生・中学生や高校生が文化部・運動部の大会に参加するための経費、また、この震災により親を失った子どもたちが、希望する進路を選択できるよう、また、勉強やスポーツ・文化活動等に励んだりできるよう、社会に出るまでに必要な「暮らし」と「まなび」に要する資金として活用されています

#### 今後の支援活動について

今後も活動を継続し、子どもたちの健やかな成長と、希望を持った福祉の向上に寄与することを目的とし、震災復興の力になりたいと考えております

#### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社アサヒディード 社長室 広報担当  
〒541-0053 大阪市中央区本町2-1-6堺筋本町センタービル11F  
TEL：06-6261-1530 FAX：06-6261-3312